

13 令和6年度アスベストモニタリング調査結果

(大気環境部)

山形県内の建築物等の解体現場においてアスベストモニタリング調査を実施した。概要は以下のとおりである。

1 調査方法

調査地点は、山形県内における建築物等の解体現場4地点（以下、解体現場A～D）である。試料の捕集方法、測定方法等は環境省水・大気環境局大気環境課発行のアスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）に準じ、試料の捕集時間は2時間、各解体現場における測定箇所は4又は5箇所とした。測定は位相差顕微鏡法により総繊維数濃度を計数した。

2 調査結果

調査結果は表2のとおりである。全ての調査において総繊維数濃度は1本/L以下であった。

表2 アスベストモニタリング調査結果

調査地点	発生源の工事	測定箇所	測定位置	総繊維数濃度(本/L)
解体現場 A	吹付け石綿 除去工事	1	集じん・排気装置の外側付近	0.22
		2	セキュリティゾーンの前室付近	ND※
		3	集じん・排気装置の外側付近	0.11
		4	セキュリティゾーンの前室付近	ND※
		5	施工区画周辺	ND※
解体現場 B	吹き付け石綿 除去工事	1	集じん・排気装置の外側付近	ND※
		2	集じん・排気装置の外側付近	0.11
		3	セキュリティゾーンの前室付近	0.11
		4	施工区画周辺	ND※
		5	施工区画周辺	ND※
解体現場 C	石綿含有建材 除去工事	1	施工区画周辺	ND※
		2	施工区画周辺	0.11
		3	施工区画周辺	0.11
		4	施工区画周辺	ND※
解体現場 D	石綿含有建材 除去工事	1	施工区画周辺	ND※
		2	施工区画周辺	ND※
		3	施工区画周辺	0.11
		4	施工区画周辺	ND※

※ND：検出下限値未満